

学びのストーリー

「たぬきの糸車」は、どんなお話かな。①

・たぬきと、おかみさんが出てきたよ。

・糸車ってなんだろう。

・たぬきは、いたずらをしていたね。

・おかみさんは、たぬきのことをかわいいって言っていたね。

なんでかな、もっと知りたいなと思ったところはどこかな。②

・たぬきは、なんで糸車のまねをしたのかな。

・おかみさんは、なんでたぬきをにがしてあげたのかな。

1 場面　いたずらをするたぬき③	2 場面　糸をつむぐまねをするたぬき④	3 場面　わなにかかったたぬき⑤
・たぬきは、きこりのふうふに、どんないたずらをしたのかな。 ・食べ物をとったのかな。 ・家に勝手に入ったのかもしれないよ。 ・きこりのふうふは、たぬきのいたずらに困っていると思うよ。	・おかみさんが糸車を回していたのを、まいばんまいばんたぬきがまねしているのはなんでかな。 ・たぬきは「ぼくもやってみたいな」って思っているんじゃないかな。	・おかみさんは、たぬきを逃がしてあげたんだね。なんで逃がしてあげたのかな。 ・「いたずらもんだが、かわいいな」って言っているよ。 ・たぬきも、「逃がしてくれてありがとう」って思っていると思うよ。
4 場面　糸車を回すたぬき（本時）⑥	5 場面　踊りながら帰っていくたぬき⑦	
・たぬきはなんで糸車を回したのかな。 ・たぬきは、おかみさんにありがとうの気持ちを伝えるために糸車を回したと思うよ。 ・たぬきは、糸車をずっと回してみたかったんだよ。	・たぬきはなんで踊りながら帰っていったのかな。 ・うれしかったのかな。 ・「ぴよんぴよこ」ってどんな踊りかな。	

お話の中で、心に残っているところを選んで、絵と文で伝えよう。⑧

・おかみさんが、たぬきを逃がしてあげたところが好きだな。

・たぬきが、糸車を回した場面が心に残っているよ。

願う子どもの姿

・挿絵や叙述をもとに、場面の様子や登場人物の気持ちを考えようとする姿。

・考えたことを友達に伝えようとする姿。

・友達の考えを聞こうとする姿。

授業デザイン

自己調整

友達の、なんでかな思ったところから学習を進める。

響きあう

話し合いの素地を整える。

・みんなに向かって話をする。

・友達のほうを見て話を聞く。

・友達の考えと似ているところや、同じところ、違っているところに気が付く。

手立て

「ぴよんぴよこ」「くるりくるり」などの言葉に着目し、動作化をすることで、場面の様子や登場人物の特徴をとらえる。

高めあう

友達の意見を聞く前と聞いた後で自分の考えを書き、考えの変容や深まりに気が付けるようにする。

手立て

好きなところを絵と文で伝えることを目標にして、学習への意識を継続できるようにする。

手立て

音読学習を継続することで、物語への理解を深められるようにする

手立て

糸車や破れ障子の実物を用意することで、たぬきの気持ちを考えられるようにする。

手立て

本時に至るまでに場面読みをすることで、物語への理解を深められるようにする。

評価規準・評価方法

【思考・判断・表現】

・「たぬきの糸車」を読み、内容の大体をとらえている。（発言・記述）

【学びに向かう力・人間性】

・「たぬきの糸車」を進んで読もうとしている。

【知識・技能】

・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（音読）

【思考・判断・表現】

・物語にはまとまりがあることを理解し、場面の様子に着目して登場人物の言動を想像している。（発言・記述）

【知識・技能】

・物語の好きなところを選び、楽しみながら伝え合っている。（音読・発言）